

WITH HARAJUKU

街の回遊を生み出し、魅力的なストリート文化を醸成する

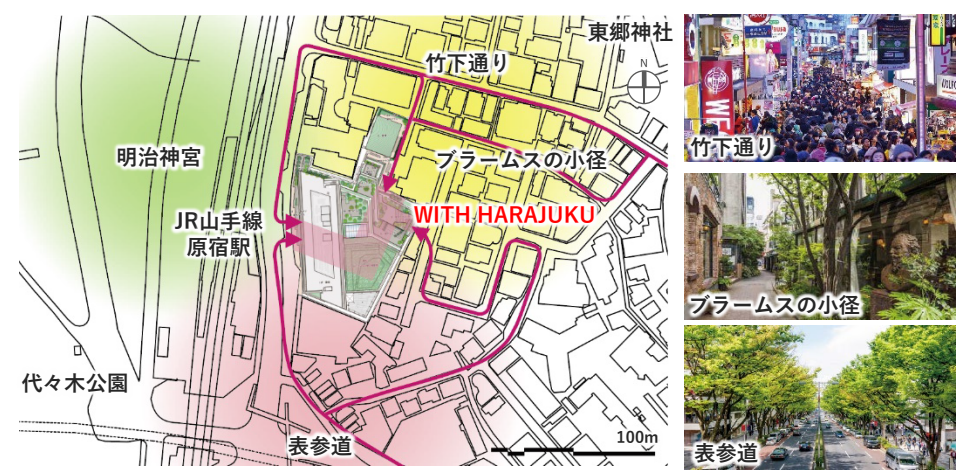


かつての源氏山の地形を再現する土地利用と地域にふさわしい樹木に取り囲まれた屋外テラス



屋外テラスとパッサージュ

取組の位置



地域課題・目的

【地域課題】当地域は「表参道」と「竹下通り」の2つのストリートが屈指の歩行者空間と最先端の文化を発信してきた。一方、各々のストリートをつなげる公共的ハブが不足し、少子高齢化やインバウンド増加、容積重視型の再開発が主流化する中で、この地域特有の街路空間の界限性やスケールを活かし、地域全体の回遊性を飛躍的に向上し、多様で奥行きのある街への進化が求められた。

【目的】 明治神宮と2つのストリートに囲まれた立地を活かし、自然と多様な都市的活動が融合する建築・グリーンインフラにより、原宿駅前の新たな公共的空間を創出するとともに、ストリート文化のインキュベーターという役割を担い、街を進化させる。

取組内容

- パッサージュ（施設を貫通する半屋外の立体的な歩廊空間）により、周辺街路と接続し、公共的な歩行ネットワークを形成した。かつて源氏山と呼ばれた原地形を想起させる段状の屋外テラスを設け、明治神宮や原宿の街の眺望点や憩いの場を創出した。
- ショップやコワーキングスペースなどのテナント入居者やホール運営者と計画・設計時から連携し、多様な活動やイベントのプログラムを受けとめる一体的なオープンスペースを生み出した。

取組効果

- 光・風が通り抜けるパッサージュと屋外テラスの連続した緑により、都市の中で自然を感じられる快適な回遊や休憩の場所と機会を創出した。
- 周辺街区との歩行ネットワークが形成され、周辺地域のストリートの来街者と施設の来訪者、集合住宅の居住者が同時に滞在し、利用されることで、集客や文化交流につながる相乗効果が生まれた。コロナ禍において、外部空間であるパッサージュ・屋外テラスを滞留やイベントの舞台として活用している。



パッサージュ（左：原宿駅側 右：竹下通り側）

屋外テラス



回遊と滞留がうまれる施設

フラワーマーケット

DJイベント

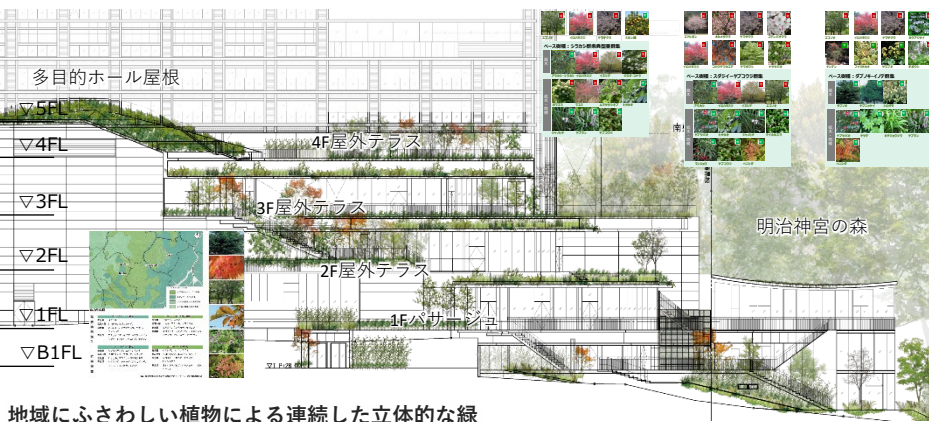
月見

インスタレーション

コンサート

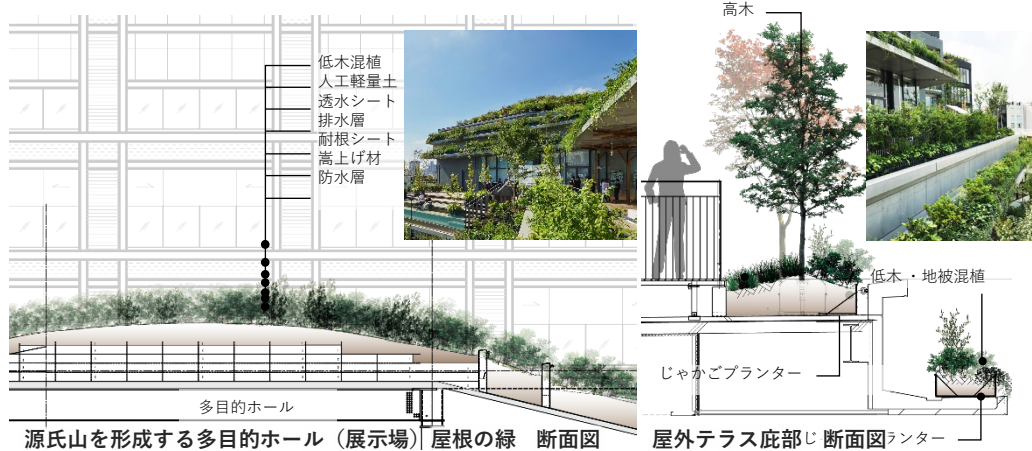
工夫した点

- 地域にふさわしい緑：植栽は、地域生態系を考慮しながら、四季折々の魅力となる様々な落葉広葉樹を各階の屋外テラスの道行きに沿って配置した。
- 多様な活動が表れる屋外テラス：屋外テラスはテナントに面し、イベントスペースの用途も兼ねている。季節・時間に応じた多様な活動が展開する。



地域にふさわしい植物による連続した立体的な緑

- 地形の骨格をつくる屋根緑化とマウンド：段状の地形の頂部となるホールの屋根をマウンド状に緑化し、かつての源氏山の風景を再現した。
- 立体的に連続する底の緑：段状にセットバックしたテラスと底に連続したプランター植栽を設け、山の緑の連続性と緑量を生み出した。

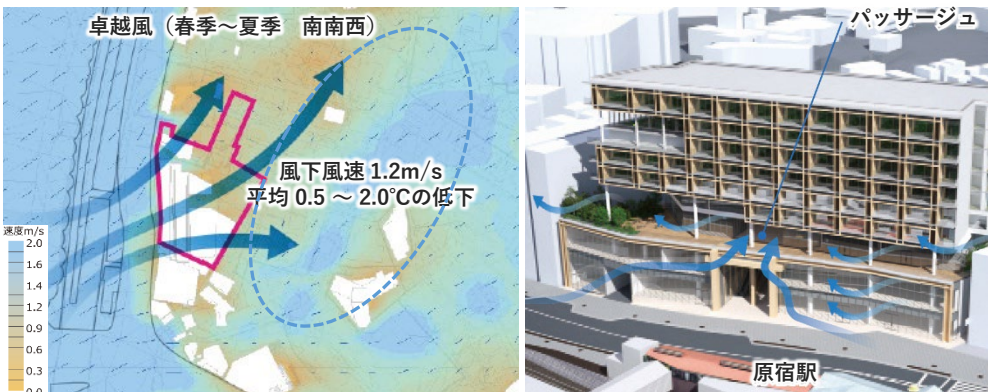


源氏山を形成する多目的ホール（展示場）屋根の緑 断面図

屋外テラス底部 断面図

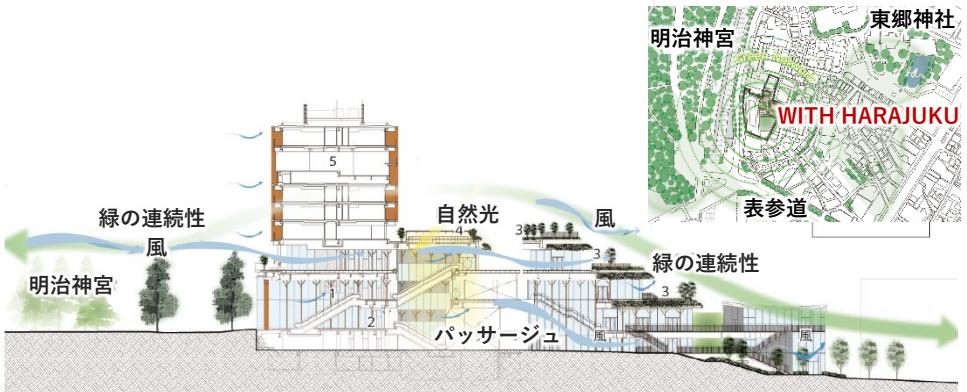
今後期待される効果

- 明治神宮の杜から冷涼な空気を計画地に取り込む計画としている。シュミレーションにより、明治神宮からの卓越風がパサージュや屋外テラスの緑を通して、周辺住宅街区へと抜けることで東側街区の気温が0.5～2.0℃低くなる結果となった。テラスの樹木の成長とともに、庇や屋上を緑が包み込み、建物から発する輻射熱を抑制し、近隣街区にもヒートアイランド効果の抑制につながることを期待される。



風の通り抜けによる暑熱環境緩和のシュミレーション（左）イメージ（右）

- 東側の低層部は、裏原宿のスケールに合わせた階段状の屋外テラスをセットバックさせ周辺街区と連続する緑を創出した。開発で失われてきた街のの緑を取り戻し、明治神宮から裏原宿側の東郷神社へと連なる緑が形成される。また、明治神宮の杜の構成種と里山の樹種で構成された多様な植栽により、鳥類や生き物の生態系ネットワークの形成に資する緑となることが期待される。



裏原宿側の東郷神社へと連なる緑のネットワーク

今後の展望

- 本事業は、ビル単体の一過性のプロジェクトでなく、街全体を未来に向けて再生していく持続的な再開発の一端である。近傍には当事業者が30年以上運営する商業施設もあり、地域の町会や商店会とも連携しながら、「WITH HARAJUKU」を核にさらに周辺の裏原宿側の街区へと開発を進め、さらなる人の流れや緑のネットワークを生み出し、街の価値を高める取り組みを継続的に進めている。



当施設を起点に裏原宿側へと波及する人の流れ